



住古の勢の猛る者見て虎の如く一維徒来虎藩國
 産する者故書記の傳文より式の里の里に視る其皮を
 視る而已久被樂天の詩にも虎山月高嘯と云言其生
 身と視る者の然今面阿紫院の通商コレセヤ一
 死の子虎と我皇朝持放りるる方延元康甲午七月
 り大江戸西國廣小路に於て諸人に見て免を鳴呼太平
 の恩惠座く外蕃の極黙之視る誰う雀躍と仰さる

應需

鶴亭秀賀記



一虎齋北方豊画

全三
三
三

虎図 于5-4052

早稲田大学図書館蔵／Waseda University Library